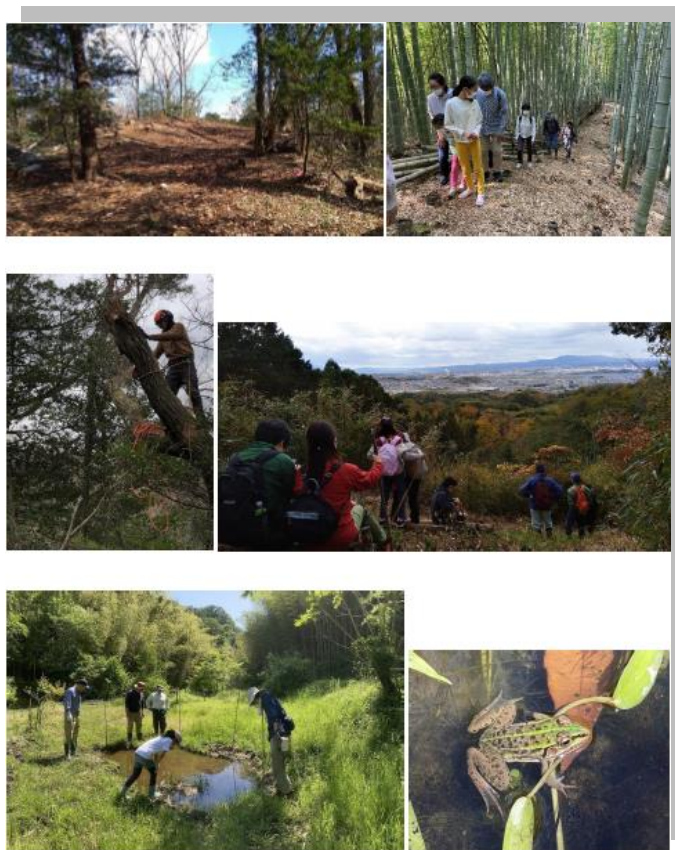


生物多様性

第2次木津川市地域連携保全活動計画

～みもろつく鹿背山再生プラン～

実施計画



令和6年7月

木津川市

(木津川市地域連携保全活動応援団)

目次

総 論.....	1
1. 保全活動計画の内容	1
2. 地域連携保全活動計画の長期・短期の目標	1
3. 保全に向けた基盤等整備イメージ	2
4. 各活動団体の取り組み	3
5. 市の役割	7
6. 計画の進行管理	8
7. スケジュール	9
(1) 年次計画.....	9
(2) 年間計画.....	10
8. 各整備図等.....	11
図1 整備実績図（令和5年度まで）	11
図2 動線管理計画図.....	12
図3 整備と管理のエリア図.....	13
図4 シンボルゾーンと里庭.....	14
図5 竹林対策図	15

総 論

木津川市では、人間も含めて、多様な生物が生活しやすい良好な環境である里地里山を保全し、多様な生物と共に暮らす楽しさを次世代に伝えるための計画として、多様な主体による里地里山保全活動を実施していく上での共通の目標を示すことを目的として、令和6年3月に「生物多様性第2次木津川市地域連携保全活動計画」を策定しました。

この計画に基づき、具体の事務事業の内容や実施時期を明らかにした「第2次木津川市地域連携保全活動計画実施計画」を策定するものです。

【実施計画の期間】

令和6年度から令和15年度まで

1. 保全活動計画の内容

- 1 空間のインフラづくり（全体の整備・管理計画）
 - 1-1 外部からの車両進入
 - 1-2 かせやまの森内部の動線
 - 1-3 整備と管理のエリア
 - 1-4 シンボルゾーンと里庭
 - 1-5 生物調査実施体制やモニタリング調査実施体制の構築
 - 1-6 特定外来種や害獣等の対策
- 2 人々のインフラづくり（コミュニティ形成推進計画）
- 3 生きものの生息地を回復し自然共生サイト（OECM）へ登録
- 4 放置竹林の整備・保全
- 5 オオタカやヤマトサンショウウオと共存する空間づくり
 - 5-1 オオタカと共存する空間づくり
 - 5-2 ヤマトサンショウウオと共存する空間づくり
- 6 古代米や薪を活用した生物多様性への貢献
 - 6-1 古代米の活用
 - 6-2 薪の活用

2. 地域連携保全活動計画の長期・短期の目標

- 1 長期の目標（令和6年ー令和15年）
 - ① オオタカやヤマトサンショウウオ等の動植物のモニタリング調査の手法を確立し、モニタリングを継続的に行います。
 - ② 竹林の保全体制を確立し、市、活動団体、企業等が協力して保全を行います。
 - ③ かせやまの森全体をマネジメントする経験を積んだ専門性の高い運営を確立し、次世代育成、情報の公開、環境マネジメント・計画能力が向上します。

その担い手が次世代へと順調に移行します。

- ④ かせやまの森が自然共生サイトに認定されることにより、国内外からの支援を受け安定した運営が行えるようになります。
- ⑤ 生物多様性が回復する生きものの谷を整備します。生きものが自在に移動できる明るく風通しのいい空間が谷から尾根へとつながります。
- ⑥ 既整備の回遊路や里庭（特色ある林内の小広場）を維持管理する10年の作業ローテーションや手法を確立します。
- ⑦ 里山コモンズとしての適正な利用ルールを確立し、不特定多数の無責任な行為が抑制されます。

2 短期の目標（令和6年～令和10年）

- ① オオタカの生息状況や営巣状況等を確認します。
- ② 竹林の現状を把握し、これ以上の侵入を防ぎます。
- ③ 今までに整備した、各団体の活動拠点と回遊路と里庭を維持し質的に高めることで、かせやまの森全体が一体性のある「自然共生サイト」にふさわしい環境となります（あるいはその整備作業のためのインフラとなります）。過去10年の実績に基づく本計画が根拠となり、自然共生サイト（環境省）に認定され、国際的な生物多様性データベースに登録されます。
- ④ 各団体の里山再生活動を調整しつつ全体計画・広報・資金調達などのプロモートを推進するチームを木津川市地域連携保全活動応援団（以下、「応援団」という。）のもとに立ち上げ、地区運営の機能不全をカバーします。
- ⑤ 地元の自治組織・教育機関・活動団体・行政の若手が交流し、里山とともに生きる社会のビジョンについて話し合い、次世代の担い手としての自覚が醸成されます（活動の第1世代が引退する時期を控えて）。
- ⑥ 10年単位の生物多様性第2次木津川市地域連携保全活動計画～みもろつく鹿背山再生プラン～実施計画を策定し、作業ローテーションを試行します。

3. 保全に向けた基盤等整備イメージ

- ① 既存活動拠点・・・各活動団体の活動維持、少し拡大
- ② 奥の山谷・・・回遊路の維持、里庭（小広場）の整備、機材置き場設置
- ③ 主要作業道・・・作業の資機材の運搬のために可能な区間は軽トラの通行を確保する。（生態系保全を優先する。）
- ④ 生きものの谷・・・神社南＞草地、池、湿地、ため池、尾根までの伐採、竹林転換実験
中切川＞草地、池、湿地、一部斜面伐採
- ⑤ 竹林転換・・・竹林拡大防止に有効なエリアを選定。転換後の活用として植樹の検討

4. 各活動団体の取り組み

(1) 鹿背山倶楽部

★短期的事業計画 令和6年度から令和10年度まで

里山再生保全活動

古代米や季節野菜などの栽培

市民のプチ里山農業体験の実施

里山林の整備

☆長期的事業計画 令和6年度から令和15年度まで

里山再生保全活動

里山散策路整備

湿地の回復・維持保全

ヤマトサンショウウオ生息調査

(2) 鹿背山竹ネット

★短期的事業計画 令和6年度から令和10年度まで

里山再生保全活動

- ・活動地の竹林保全、憩いの広場整備

- ・間伐竹のリサイクル

竹チップの製造、竹筒製品、燻竹製品

- ・市民参加のイベントの実施

竹林講座、研修会の実施

食農プロジェクト、タケノコ堀

☆長期的事業計画 令和6年度から令和15年度まで

里山再生保全活動

- ・人材育成(新規担い手の育成)

- ・放置竹林拡大の抑制

- ・間伐竹の商材化

- ・竹林広場、竹林遊歩道の整備

(3) 木津の文化財と緑を守る会

★短期的事業計画 令和6年度から令和10年度まで

鹿背山城跡散策道整備

城跡の保存活動

☆長期的事業計画 令和6年度から令和15年度まで

史跡指定を目指した調査研究

(4) 鹿背山の柿を育てるネットワーク

★短期的事業計画 令和6年度から令和10年度まで

通常作業 柿園の手入れ

竹林整備

☆長期的事業計画 令和6年度から令和15年度まで

会員の拡大に向け、柿の剪定講習会・接木講習会・柿の収穫体験

(5) NPO法人こそだてママnet☆

★短期的事業計画 令和6年度から令和10年度まで

親子で里山に触れ合えるイベントの実施（鹿背山おやこ森のkichiなど）

☆長期的事業計画 令和6年度から令和15年度まで

将来の里山保全活動の担い手の育成

(6) かせやまの森創造社

★短期的事業計画 令和6年度から令和10年度まで

【空間のインフラづくり】

かせやまの森学校で「里庭づくり」を行い、6か所程度整備する。

作業機材置き場を山中に設置する。

回遊路にアートな道しるべを設置する

主要作業道での軽トラの通行確保

生きものの谷整備（神社南）草地、池、湿地、ため池、尾根までの伐採、竹林転換実験

竹林転換実験…竹林拡大防止に有効なエリアを選定し実験的に運用する。

（タケノコ栽培、広葉樹林化、果樹園化などを実施する）

【人々のインフラづくり】

城山台小学校との連携維持、広報協力、広報物掲示

循環交流促進チーム立ち上げ

広報物（紙、ネット）、団体間SNS、年次報告、施業プロチーム

応援団の会合アレンジ、予算編成

企業等への広報ツール（年1回）

城山台の組織立ち上げ 整備、子育て（里山自由時間）

【交流循環プログラム】

気軽に遊びに来る 里山自由時間

森学校→ 里山デザイン学校 新しい里山実践的研究 人材育成

☆長期的事業計画 令和6年度から令和15年度まで

【空間のインフラづくり】

かせやまの森学校で「里庭づくり」を行い、6か所程度整備する。

作業機材置き場を山中に設置する。

回遊路にアートな道しるべを設置する

主要作業道での軽トラの通行確保

生きものの谷整備

（神社南）草地、池、湿地、ため池、尾根までの伐採、竹林転換実験

（中切川）草地、池、湿地、一部斜面伐採

竹林転換実験…竹林拡大防止に有効なエリアを選定し実験的に運用する。

（タケノコ栽培、広葉樹林化、果樹園化などを実施する）

【人々のインフラづくり】

城山台小学校との連携維持、広報協力、広報物掲示

循環交流促進チーム立ち上げ

広報物（紙、ネット）、団体間SNS、年次報告、施業プロチーム

応援団の会合アレンジ、予算編成

企業等への広報ツール（年1回） 支援金獲得

城山台の組織立ち上げ 整備、子育て（里山自由時間）

【交流循環プログラム】

タケノコ掘り参加推進（150人→500人）タケノコ整備エリア拡大

古代米、薪、柿、タケノコ、ヤギのプログラム、専門的人材募集・地元人材活用

気軽に遊びに来る 里山自由時間

森学校→ 里山デザイン学校 新しい里山実践的研究 人材育成。

（7）南谷里山管理組合

★短期的事業計画 令和6年度から令和10年度まで

【通常作業】毎年

- ・活用団体受入れ

こどもエコクラブ、こそだてママ net☆

他団体の受け入れについて「募集説明会」を開催

【特別作業】2、3年に1回程度

- ・拠点施設の充実

デッキ移設、旧トイレ解体、休憩所、ため池浄化

【臨時作業】5年もしくは破損がない場合はそれ以上

- ・老朽化施設の統廃合

倉庫

- ・廃棄物処理

- ・脱ブラ推進

ビニール紐、ブルーシート等マイクロプラスチック化する素材の使用について審議

- ・里山とニュータウンの好循環づくり

城山台のボランティアグループ発足のサポート →「入会説明会」の開催

鹿背山区民との交流 →1年に1度のイベント開催を検討

☆長期的事業計画 令和6年度から令和15年度まで

【通常作業】

草刈り（柿畑、みんなの庭）

【特別作業】

危険木伐採（BC 周辺）

【臨時作業】

- ・老朽化施設の統廃合、水道整備、雨水貯水施設

- ・脱プラ推進

持ち込む素材についてルール設定

- ・里山とニュータウンの好循環づくり

城山台のボランティアグループからの活動状況の発信と交流

「入会案内会」と「交流会」の定期的な開催

（8）木津川市こどもエコクラブサポーターの会

★短期的事業計画 令和6年度から令和10年度まで

川の水質調査、里山の生物観察

里山整備作業のお手伝い

☆長期的事業計画 令和6年度から令和15年度まで

将来の里山の担い手となるこども達の育成

（9）キノコもクラブ

★短期的事業計画 令和6年度から令和10年度まで

里山再生保全活動

里山林の整備

キノコなどの栽培

野菜栽培及び果樹園整備

☆長期的事業計画 令和6年度から令和15年度まで

里山整備によりギャップの形成

キノコ栽培や薪作りをとおり里山資源の活用

里山の担い手の育成

(10) ネイチャーファミリーかせやま

★短期的事業計画 令和6年度から令和10年度まで

里山整備活動及びイベント

リーダー育成講座

地域参加型イベントの開催

活動エリアへの養護施設団体の受け入れ

☆長期的事業計画 令和6年度から令和15年度まで

果樹を植樹して魅力ある里山づくり

5. 市の役割

木津川市は活動団体や学識者との意見交換を積極的に進めて、全体的長期的なガバナンスが築かれるように事業について創造的にレベルアップを図ります。

時代に即した問題意識やビジョンの更新を行いつつ取り組みます。

① 交流循環促進チームの立ち上げと支援

応援団の運営には里山の生態系管理や市民まちづくりの経験・技能を持った人材が関与しておらず、企画・コーディネート機能不全に陥っています。全体を見る視点や経験を積んだ専門的な視点をもったチームが事務局としてサポートする必要があります。チームは応援団内部の調整のみならず、地域社会と里山の交流循環を促進します。

② 民有地の寄附の受け入れ

土地の所有状況は、市有地と民有地がモザイク状であることから、民有地の寄附を積極的に受け入れ、活動フィールドの一体的な利用促進を進めます。

③ 環境の森センター・きづがわとの連携

環境の森センター・きづがわは、計画区域に隣接する環境調和型研究開発ゾーンに立地していることから、環境学習の拠点や里山保全活動に係る駐車スペースとしての活用を検討します。

④ けいはんな学研都市との連携

公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構（以下、「学研推進機構」という。）には、府・学研企業との情報共有をサポートしていただき、学研都市の里山という位置付け、都市開発によって失われた地域の生物多様性を回復する起点としての里山というビジョンを発信するよう協力を求めます。

また、新型コロナウイルス感染症を機に、ワンヘルスについても注目されています。人の健康、自然の健康、動物の健康は1つであることを共有し、学研推進機構と連携して、里山を利用した健康的なまちづくりを目指します。

⑤ 八王子恵美須神社との連携

八王子恵美須神社はかせやまの森の中心付近にあり、全ての活動団体の活動地と繋がっていることから、交流の場としての活用が期待でき、神社にも人が訪れる流れを作ることができます。また、神社としての歴史や社寺林も生物多様性の保全の観点からも重要であることから、協力してかせやまの森の保全ができないかを検討します。

⑥ 放置竹林の保全活動

現在、かせやまの森の広い範囲を占めている放置竹林の保全活動を主導して進めて行きます。現在、かせやまの森で竹林の保全活動を行っている活動団体だけでは、全ての竹林を保全・管理することは難しく、これまでの10年で保全範囲の限界が見えています。しかし、竹林のこれ以上の拡大は、里山の荒廃に繋がります。そのため、本計画では、市が主導して竹林の保全に取り組み、活動団体や企業等と協力して取り組める体制を構築します。

⑦ オオタカ及びヤマトサンショウウオの保全活動の把握

各活動団体が行っている保全活動の場所等を把握し、必要によっては支援を行える体制を構築します。特に、ヤマトサンショウウオは盗掘等の恐れがあることから、活動団体が保全を行っている場所については把握し、情報共有を行えるようにします。オオタカについては、営巣場所や繁殖場所等の情報を共有し、効果的な保全活動の提案や支援が行えるようにします。

6. 計画の進行管理

3-1 各活動団体による進行管理

活動団体は、里地里山保全活動の状況や成果等を検証することにより、次年度以降の活動に役立てるために、それぞれの活動指標と成果指標、及び具体的な数値目標を設定し、年度ごとに自己評価をおこない、計画（Plan）、実行（Do）、点検評価（Check）、見直し（Action）のPDCAサイクルに基づき、団体独自で進行管理をおこないます。

3-2 応援団による進行管理

木津川市地域連携保全活動応援団は、保全活動計画の進行管理をおこないます。この応援団において取りまとめた情報を分析することにより、計画区域の全体的な進捗状況や課題・問題点等の把握に努めます。また、活動団体の里地里山保全活動が円滑に進むように協力及び支援をおこないます。

7. スケジュール

(1) 年次計画

単位：年度、下段の数字は事業費（千円）

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	計
各団体 活動拠点維持	各活動団体の活動継続・整備面積を少しずつ拡大										
	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	2,000
作業道整備	軽トラ通行改善										
	700	1,000	1,500								3,200
回遊路維持	年2、3回の通路整備を継続										
	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	2,000
里庭づくり	年1、2か所のペースで整備										
	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	2,000
生きものの谷 (中切川)				竹林伐採、水面づくり							
				500	500	1,000					2,000
生きものの谷 (神社南)	竹林伐採、水面づくり			棚田など活用実績			活用団体立ち上げ				
	500	1,000	1,000	500	500	200					3,700
竹林抑制※	エリアA						エリアB		エリアC		
	300	300					1,200	1,200	1,200	1,200	5,400
循環交流チーム	設立	応援団企画運営・広報・企業連携・助成金獲得・新規団体呼びかけ育成									
	100	200	200	200	200	200	200	200	200	200	1,900
城山台小学校	授業支援継続・学校の緑化協力・地域参加推進										
	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	1,000
城山台組織	設立	回遊路整備・森遊びプログラム実施									
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	900
企業連携	登録	ヒヤリング・広報・年次報告									
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	900
年度予算 (千円)	2,300	3,400	3,600	2,100	2,100	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	25,000

※竹林抑制のエリアAは、竹ネット尾根南側の南面斜面（市有地）を想定。良好なタケノコ育成地として維持し、周辺への拡張を抑制する。エリアB、Cは今後検討。

※市はCSR活動の募集を継続して行う。

(2) 年間計画

《前年度》

1 1～1月 次年度事業計画・予算案策定
整備箇所、環境班による動植物調査モニタリング箇所の設定

《計画年度》

5月 応援団総会開催。
本年度事業報告・決算、次年度事業計画・予算議決

6月 第1回通路整備作業（活動団体）

6月～9月 前期整備工事発注

10月 第2回通路整備作業（活動団体）

10月～2月 後期整備工事発注

12月 応援団懇話会（本年度の整備の総括）

2月～3月 環境班による動植物調査モニタリング報告

目

- 活動・管理エリアA
(年1回以上の手入れ)
- 活動・管理エリアB
(数年に1回の管理)
- 年2、3回の通路整備作業
(市主催)
- 随時通路管理

0 500m

11

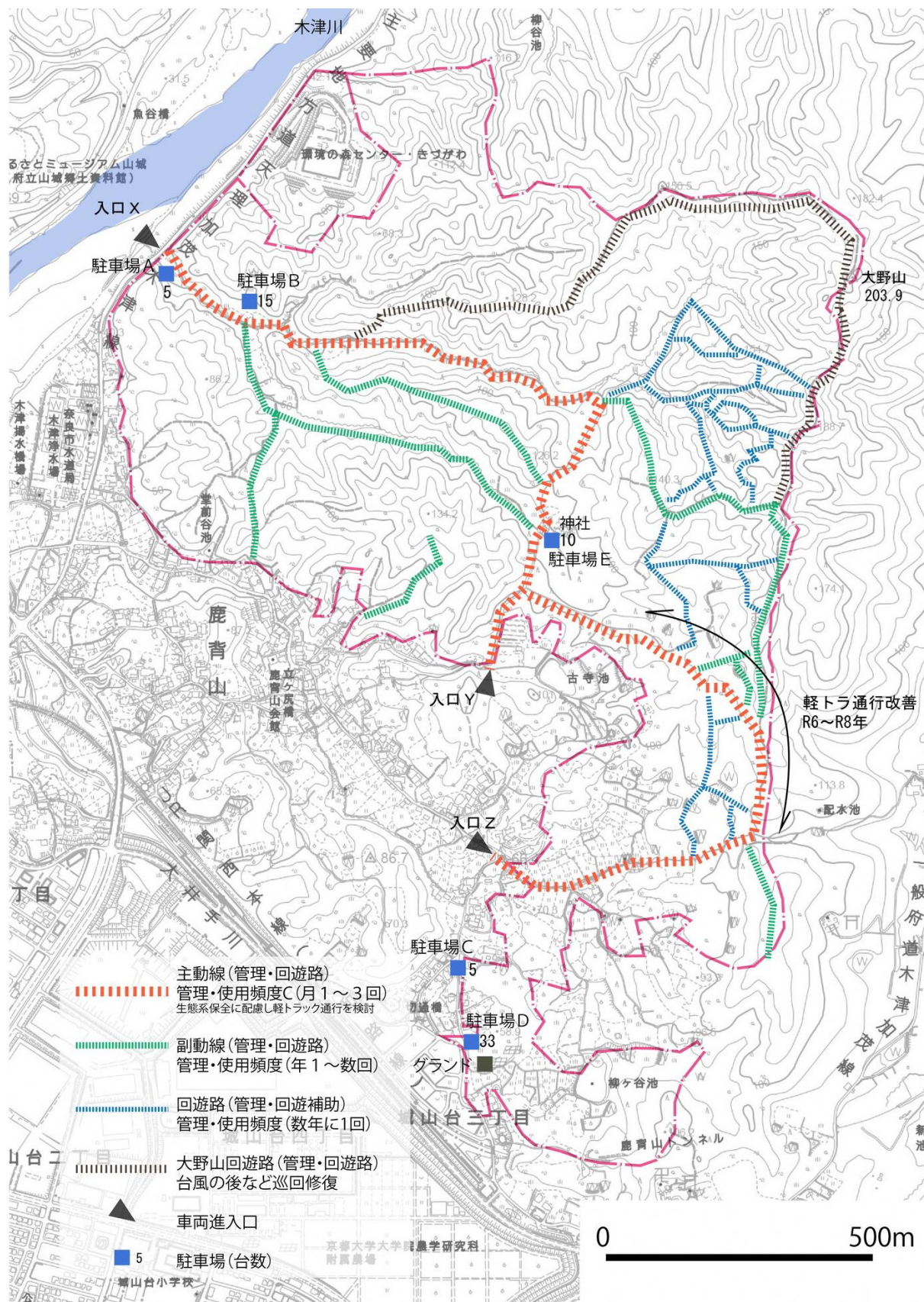


図2 動線管理計画図

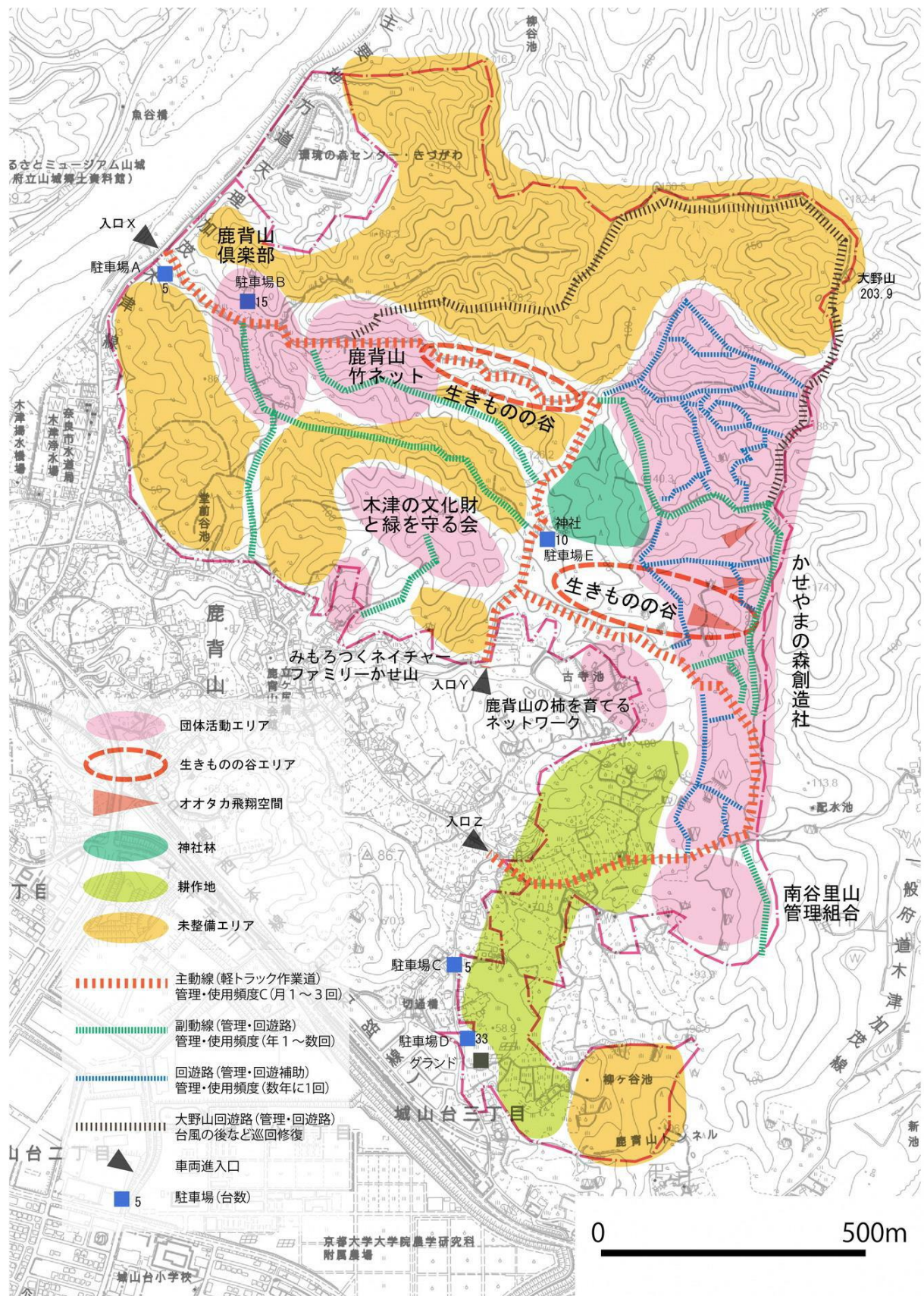


図3 整備と管理のエリア図

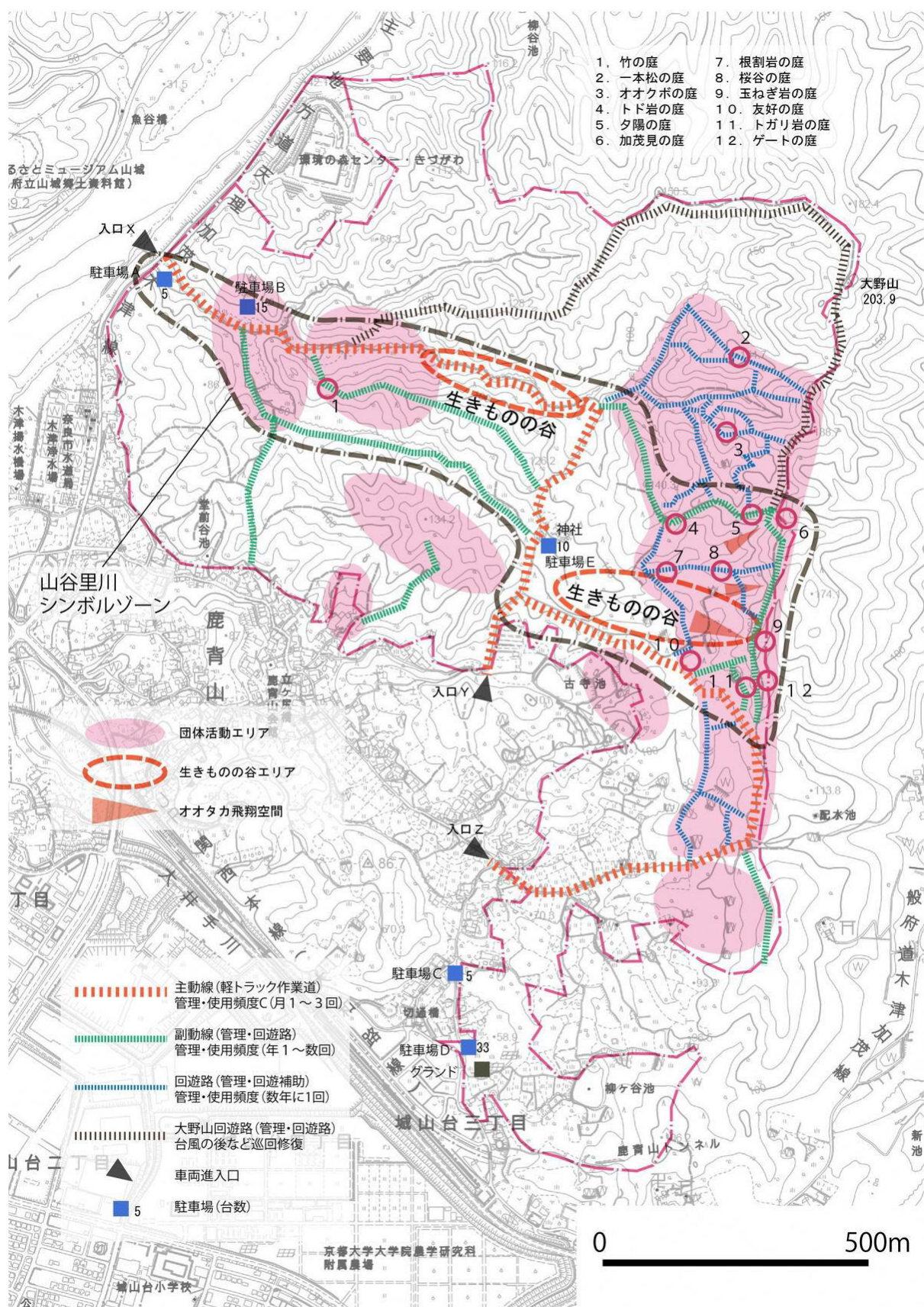




図5 竹林対策図